

平成二十四年度 全日本珠算選手権大会が京都で開催される

競技部長 荒木 田 富 枝

八月八日(パチパチ)はそろばんの日、第五十六回目を数える全日本珠算選手権大会が京都市の国立京都国際会館において開催されました。

今回の開催地・国立京都国際会館は、平成八年八月八日以来の開催です。

文字通り『そろばん日本一』を決める大会で、全国各地から小学生一三三名、中学生一五〇名、高校・一般二二二名、計五〇五名が参加して開催されました。静岡県からは小学生二名、中学生三名、高校生六名、一般から五名で、計十六名の参加でした。

今回の大会から、個人総合競技において、小学生と中学生以上の選手を二回に分けての競技となり、小学生の読

上暗算・読上算種目は指定された選手(十八段以上)のみの参加となりました。

前日の七日午後三時よりフラッシュ暗算のみ着席場所の抽選、三時二十分より五時まで競技会場を練習会場として解放され、同行の先生方のご協力により、熱のこもった練習ができました。今年には都道府県対抗競技の対戦相手

が、六月の時点で決定されているので相手を見据えての練習もする。今年には、運営方針の見直しがあり事前に各支部で引率者の中から大会当日大会運営委員の依頼があり、静岡県支部では栗田昭男先生を推薦申請し、一日運営委員として、頑張っていたきました。

八月八日、午前九時、生駒副理事長による開会宣言、大会参加全選手の氏名が正面スクリーンに映し出された。

梶川理事長の挨拶、文部科学省・産業教育局産業調査官のそろばんは、物事を諦めず最後まで頑張りぬく力が養われる等の言葉があり、ほ



《フラッシュ暗算》

予選五問、静岡県選手は全員通過し決勝に入る。

優勝は岩手県の笹野健夫選手。三年連続優勝。三桁十五口一・七一秒。ギネス記録挑戦で一・七秒で自らの記録を更新、常に進化しているこの選手には、感服するのみです。

静岡県の選手は、あと一步のところ

《個人総合競技》

満点で石川県の松田沙弥香選手が、そろばん日本一に輝いた。

早稲田大学大学院の学生で今、丁度教員試験の終わったところで、練習もあまりできなかったとか。

インタビュで「九年前、中学二年の時、満点を出したのですが同点決勝で負けて日本一になることができません

でした。今回はあまり練習ができませんでした。今まで練習をしてきましたので」と、やさしい声で答えていたのが、とても印象的ではなか、とてもうれしく思いました。本県関係の入賞者は次の通りです。和久田貞子選手二十五位、大杉麻実選手七十八位、齋藤達彦選手七十八位、野末陽太選手百位、野末選手は静岡県で中学生として久しぶりの入賞でした。

《読上暗算競技》

優勝は千葉県の堀内祥加選手、三年連続・五から十六桁。

《読上算競技》

優勝は東京都の中学生・賀来有希沙選手、七桁一十六桁。中学二年生の選手で、二位も中学生でした。

《都道府県対抗競技》

予選組み合わせは、六月に行われていて二十八チームの参加となった。

静岡県チームは、和久田貞子、野末陽太、西澤絵里佳の三選手で、一回戦は不戦勝、二回戦で石川県、岡山県と対戦し個人総合で優勝した松田選手がいる石川県が勝ち残り、静岡県は二番目で勝ち残ることはできませんでした。

優勝は兵庫県。

成長して来年に期待したいです。今年も多くの選手に参加していただき誠にありがとうございました。

栗田副支部長はじめ同行の先生方、高校の先生方にも大変お世話になり、感謝申し上げます。来年も京都府の開催となります。